

令和元年度 第12回運営協議会会議録

日時：令和元年6月5日（水）午後5時～

場所：天理市役所4階 特別会議室

出席者8名（ 欠席）

管理者：改めまして、6月議会の大変お忙しい時期かと思えますけれども、このような時間帯にご参集いただきまして、本当にありがとうございます。また ようこそお越しいただきました。これまでも諸先輩とご一緒に10市町村チームになって、このクリーンセンターの計画を進めてきたところでありまして、いよいよ事業者の発注が迫ってくるというような段階になっております。一つの建設に向けた山場を迎えようかなという中にありまして、やはり各市町村にとっては非常に予算負担の大きい所だというふうに考えております。ですから、これまで運営協議会で色々議論させていただいたんですが、情報はできるだけ密に共有をさせていただく中で進んでいく事が大事だろうという事で、今日は特に予定価格が見えて参りました。又それに伴って各市町村の負担額はどうなってくるのかという所を一定のシミュレーションというのをやっております。勿論入札によってそれは当然前後する部分があるかなというふうに思いますが、方向性が見えていると。そして事業の実施方法についても少しご相談をしないといけない中身というのがございまして、勤務時間が後ちょっとで本来でしたら終わるような時間でございますが宜しくお願い致します。

<資料確認>

管理者：それでは僭越でございますけれども、早速議事の方に入らせていただきたいと思います。非常に大事な数字だというふうに思うんですけども、これから公示をしていく前の段階でございますので、数字が独り歩きするという事になりますと、入札の公平性に疑義が生じてしまうような事になり兼ねないという事から、私自身もこの資料、一切持たないようにしております。ですので今日はただ、さわさりながら、やはり各市町村の今後の財政計画を決めていく中で、大体これくらいなんだという所をないといかんという事で、共有させていただくわけでございますが、回収をするという点、お気を悪くされずにご理解いただけたらと思います。それではまず最初の議事であります予定価格と関連いたしますので議事の2として各市町村の負担額についてを事務局の方から宜しく申し上げます。

<説明>

管理者：はい、ありがとうございます。今、事務局から説明があった通りでありまして、あくまで予定価格でありますので、入札によって変更があるわけでありまして、一時、私共の議論の中で、トン当たりの単価が上昇傾向にある事から下手をすると1億前後にならざるを得ないかもしれないという状況からすれば、なんとか8,700万台というような形で収まっているかなというふうに思います。交付金対象外事業の起債の範囲がありましたが、外構

とか含まれるものがあるかどうかで、県とやっておる所で、今。ですから、一部起債対象ではないですよというふうに言われる可能性もあるので、その分、一般財源が乗っかってきておるんですけども、実際には起債対象になればもう少し起債の方について、一般財源の方は減ってくるかなというような形でございます。突然、数字を示した形でございますので、色々ご質問あるのかなというふうに思いますが、如何でございましょうか。目安程度に今の時点では思っていただければというふうに。これは各財政ご担当にお示しをするのはいつになる予定でした。

局長：各市町村の財政担当者に来ていただいて説明をするのは、元々は組合が一括で起債も借りるという話だったんですけども、過疎債の関係で各市町村で借りていただくという形になりますので、そういった概略の説明をまず近いうちに来ていただいて説明をしたいというふうに考えております。ただ、細かい金額については全てが出てからでないと表せませんので、もうちょっと先になると思いますけれども。

管理者：又、公表後ですね。オープンにしてからですね。そうではない。

局長：交付金、対象になるならないとかいう事ははっきり分からないと、細かい金額は。

管理者：じゃあその時点ではもうお示しはしようと思ってるという事でいいですか。

局長：はい、決まった時点で説明をさせていただく。ただ、先程言ったように起債の借り方とかそういう事については各市町村の財政担当者の方が理解をしていただきたいという事で、近いうちに会議を持ちたいというふうに思っております。

管理者：了解です。

■■■■：それでなかったら財政計画建てられへん。額がはっきりせえへんのに。

■■■■：事前に財政の方には話はしようとは思うんですけど、丸くしたぐらいの数字は言っていないでしょうか。

管理者：今、■■■■から聞いていただいておりますけれども、丸くした数字ぐらいは今の時点で財政担当に伝えていかってという事はどうですか。

局長：まだ、今の時点では出させてもらった金額については、丸めていただいてもちょっと説明していただかない方がいいです。

管理者：それがオクケーって言えるのはいつのタイミング。

局長：公表してからですね。

管理者：そういう主旨を私さつき聞いたつもりなんです。なので段取り、手順、或いはその各市町村から組合に歳入として入れていただく時期とか、そういうメカニズムの部分は出来るだけ先にやらせていただきますけども、数字の所は。それだと大体8月のいつ頃目途とか。

局長：(小声) 公表してるの、対象になるかならへんかとかまだこれから詰めていかなあかんねんやろ。

南主査：(小声) 設計書組んでからですね。

局長：公表させていただいても、金額は公表してもその中の先程言った交付金対象になるものはどれかっていうのを、まだ、それから決めていかないとはっきり出ませんので、ちゃんとした金額を出せるというのはまだもうちょっと先になってくると思います。

管理者：公表したら何れにしても予定価格自体は。

局長：予定価格自体は出ていきますので、それは全く問題ないんですけども。

管理者：変動するっていう事を前提に、ですから各市町村も来年度以降の計画を立てるにあたって、大体自分の所はこのぐらいになり得ると。その最終調整で一般財源と起債の範囲は変わるにしても、恐らく今日お越しの皆様方早いうちに目処だけでも伝えたいというご意向。

局長：公表した以降はこの表については出ていっても問題はないと思いますんで。ただ、一般財源がちょっと大きくなってるという事がある。

管理者：変わり得るという事と、特に又リサイクルに参加されない [] と [] と [] については管理棟の部分が最後までちょっと残ってくるので、他の皆さんはちょっとだけ管理棟の分は下がる可能性もあると。

局長：そうですね、この表に表してるやつよりは下がる。

[]：起債対象になるかならんかの話も今、十分詰まってないから、今後それがしっかり決まってくると当然一般財源の額は。

局長：そうですね、出て参ります。

[]：だから、今の段階で下手な事言うと数字が大きく変わりはせえへんけど、多少のずれ込みっていうのは当然出てくると。

局長：だから、今の金額が増えないような今出し方をしてますんで、一般財源が減ってくるで

あろうという所です。

管理者：あんまりセンチな計算で各財政負担を考えると、目安的な感じになるかとは思いますが。

：そうしますと、うちの議会が今議会中にこれについて色々勉強会をしたいという事で時間を押さえてくれてるんですわ。そうするとマックス全体でどれくらい掛かりますの。用地とか別にして、建設色んな管理棟やら何やらあるけど、トータルでこんだけ掛かります。その内の私共はおおよそこれぐらいの持ち分になるでしょうというぐらいの事は、どうなってくる。

管理者：9月議会では可能やと思うんですけど、予定価格の公表前なんで、少しその数字までは難しいかなという、何でそれが先に出るねんっていう話になってしまいますんで。

局長：だから今、公表予定が8月16日の予定をしておりますので、それ以降であれば今の数字っていうのは問題ないと。

管理者：だから今議会で、いってこのぐらいついていう所も、結局、予定価格っていう所がギラッと出ますから、難しい所かなと思うんですけども。だからもしあれでしたらトン単価9,000万だったらまあ今のごみ量割合になぞらえるところなる、1億だったらこうなる、何パターンがあつてとかだったら頭の計算っていうぐらいになるのかなと思うんですが、ちょっとトン当たり8,700万なんのとかって言うと、予定価格をバラしてるのと同じような形になっちゃうので。

：あの、そういう事よりもっとバクっとしてね、例えば全体で何百億掛かります、掛かる予定ですと、我が町の持ち分は例えば全体で丸い丸い数字でこれぐらいになるかなという今の所はあれやけど、一応、入札価格を公表するまではシビアな価格はちょっと控えさせていただくという、それぐらいの事が言えるのかどうかやな。これ聞きよと思うねや。

：もう精査中ですので言わなしゃないんちゃいます。今事務局で精査してます。

管理者：3カ月もしお待ちいただけるのであれば、予定価格出してからきちんとした議論の方がいいのかなと、勿論。

：じゃあ、あれしましよか、工程スケジュール関係については当然。

管理者：それは問題ない。

：ちょっと予定価格の案件もあるので、丸い数字含めてそれは次回、例えば9月議会の中でお話しをしてもらいたいという事で。

管理者：型の部分もきちんとご説明いただくという事で、どの資料を使っていたかという事も事務局できちんとご相談するという事で、いいですね。

局長：はい、担当者の方に又詰めさせていただけたらと思いますけれども、はい。

■：ひよっとしたら、明日、電話しよるか分からへん。明日ぐらいで、今日、急に言うてきよったんでね。明日ぐらいでバクっとした工程くらいは。まあ今ももらってますけどね。

局長：工程については、大体お渡しする事は出来ます。大体公表が8月16日ですので、その前の8月定例会の時に補正予算を提案させていただいて、その後に公表するという形になっておりますので。その辺の来年度以降プレゼンがいつとかそういう事も含めて、工程的なものについては特に問題ないと思いますけれども。工程も今の時点でちょっとまずいみたいなんです。

管理者：いつ、だからその。

課長：はっきり言えるのは実施方針で5月7日に公表しております工程につきましては、もう公表しておりますので、その部分は言えます。それ以外の若干細かなヒアリングをいつするとか大体どの時期にするとかいうのは、まだその部分についてはシークレットは出してますので、その部分については言えませんが。

■：バクっとした話。

課長：それについては実施方針の所をお渡しさせていただきますので。

■：もしあれだったら明日ぐらいに、明日、明後日で資料ちょっと簡単な資料あれせなあかんで、頂いて帰れたらありがたいです。

管理者：こないだ出した実施方針の資料、準備できるようになれば今持って帰っていただいて、あとまた。

■：それは前の時に事務方も持ってるんちゃうん。

課長：もうホームページに載せてますので、実施方針全てと要求水準書の案は全て見れるようになってますので。

■：そうするとホームページから必要な所だけやった方がええな。

課長：そうですね、その方が一番ありがたいですね。申し訳ないですが。

管理者：如何でございます。議会その他関係で気にかかる所もあるかと思いますが。

：まだそこまでヤイヤイ、多少はあるけど、どうって事はないと思うで。

：基本的に全体額的な話するのは全員の共通認識としては9月以降、9月議会以降の8月16日の公表日以降に。

管理者：以降だったら表に出てますから。前もって何でもいいんですけども。

：だから全体的な予算資金については公表以降だから。

管理者：9月議会が順当かなと。それぞれの全体協議会の中で、お話しをいただくというのが一番綺麗じゃないかなと思います。

：懸念されるのは、に説明先やったら何でうちしてないねんっていう所になってくるので、大体そのね、する時期っていうのを合わせての方がいいのかなと。

：それから以降、それから決まってから以降やったら財源内訳もはっきりしてくるし。

管理者：さっき申しました起債対象の部分だけちょっとありますけれども、これがですから多い目で一般財源出てます。

：せやからまあまあ今の段階では町負担する一般財源分いくらか、そんな話はできひん。

：ほんなら財源はもう伏せますわ。

管理者：今は。

：9月まで。

管理者：事務局、何か気になる事ありますか。ちょっとあっちやらこっちやらで話が飛ばないように。そちらで何か気になる事があるならどうぞ。

局長：いえいえ、特には。今、予定価格の当然8月定例会で補正予算を組む段取りするんですけども、当然その説明に各選出議員にも説明に行きますので、その時点で選出議員にはこの予定価格っていうのが説明せなあきませんから、ただまあ公表しないで下さいっていう形では説明しますけどもという形でちょっと話をしていただけなんで。

管理者：ん、公表前に選出議員に予定価格を言うの。

課 長：議会の承認をいただかなければいけませんので。

局 長：議会の説明にお伺いせなあきませんから、当然その辺の説明はせんと補正予算の説明もせなあきませんから。

管理者：補正予算の中にこの予定価格を反映で何が乗ってくるんでしたっけ。

局 長：金額。

管理者：いや、補正の項目としたら何費。

課 長：建設費ですね。その予算がなければ入札公告打てませんので。

管理者：成程。

局 長：だから16日が入札公告ですので、8月の6日が定例会になります。

管理者：それはじゃあ紙では今日も回収するわけですから、議員には口頭で説明するけどって事になるの。

課 長：そうですね。額はその段階で説明にあがった時にはもう全て分かりますんで。ただ、先程の若干の話の中では、やはり8月16日に公告打ちますんで、それまでは知り得てもちょっと伏せといていただきたいっていうお願いは再度させていただくつもりでおるんですけどもね。

管理者：ですから、そうすると組合の議員はその段階では知る事にはなるという事ですね。

：まあ知らんふりしといてねって言わな。

管理者：それはそうですね。

：この予定価格、今の段階はこれマックスやな。

局 長：そうですね。これ以上上がる事はないという事で。

：下がる事はあり得るわけやな。

局 長：はい。

：最近入れ札ってみんな高いんかな、率が。高いな、最近は。

■：公表するともう100%に近い、競争性がないと。

■：競争性なかったらもう100に近いな。

局長：前回お話しさせていただいたような内容ですので。

■：100に近いと思とかな。

管理者：それでいくとですね、億とかになってなくてよかったなとトン単価。

■：ほんまやな。

管理者：一時そんな話もでもありましたですよ。可能性としてそんな情勢だと社会情勢からすれば。如何でしょうか。他、如何でしょうか。何かご質問とかご不明な点は。

■：まあ今の段階でヤイヤイ言うてもな。

管理者：よろしいですか。そしたら■以外にも色々議会との関係でありましたら、今の時点ではホームページで公表されている所に対応していただいて、9月議会に向けてご一緒に準備をしていくという事で宜しくお願いを致します。それでは次の議題に移らせていただきます。議事の3であります。事業実施方針について、事務局の方から説明をお願いします。

<議事3説明>

管理者：はい、ありがとうございます。前回見積の状況等もお話しをした上で、参加資格要件は情勢に関わらずこれまでの議論を維持しようというような形でメモも作成をさせていただいたところでありますが、今回不落という事態は避けなければならないという中で、私も事務局の方と議論したんですが、特定の事業者を決して有利にするという為ではなく、入札の公平、公正性というのをはっきりと確保しながら、ただ不落にならない為には下請けについても条件がきちんと満たされているようにという事であれば、元々の要件に何かいたずらに・・・ではなかろうという事で、やむを得ないのではないかというふうには思っております。皆様方のご理解得られれば、そういう形で進めていきたいと思っておりますし、今日の運営協議会でそういった方向性をみんなで確認したという事を又記録に残させていただいたらなど、かように考えておりますけれども、ご質問ご意見等を是非宜しくお願いを致します。

■：これで結構だと思います。と言いますのも、本当に今不落になったら一番、ここまで来て最悪のパターンを避けやなあかん中で、やっぱりJVで組んでもらう所がなかったらこ

れ致し方ない事ですね。やっぱり今の状況からして、かなり建設会社あっちこっち仕事持ち過ぎてるんですよ。ですから、うちもこの前中学校建て替えたんですが、その時に非常に困りました。やっぱり金額の高騰もあるし、引く手数多になつとるんで、ちょっと建設会社は天狗になつとるなと思うところもありますんでね。できたらこれでいっていただいたらどうかと私は思います。

■：JV言うたら、例えば日立のプラントやったら日立、住友やったら住友と例えば何々建設というのが一つのこれ組むわけやんか、共同企業体ですね。今のは日立や住友なら相当プラントとやって、その下に下請けで付いてきよるという事ですね。

管理者：だからJVでもいいし、プラントメーカー単独でもいい。そのプラントメーカーが下請けをどこか入れるとしたならば、そこはでも経審だったり何だったりは以前から議論いただいてる所は守ってねという形にするという事ですね。

■：実際やっぱり今、■言うてるような状況っちゃうのは現実論として、俺はあんまりその報告は、うちはそんな大きな建築今やってないから分からへんねんけど、小さいもんでもちょこちょこあるとは聞いてるけど、現実にやっぱりそれが横行してるって言うたら変な話やけど、大きな所ばかり狙いについて特にこれ主はプラントやもんな。建築専門で生業にしてるとこあつたらそんな儲けも、自分とこの比率は小さいから組みにけえへんって事。

局長：基本的に費用というのは少なくともプラントメーカーが組む建設業者から見積を取りますので、厳しく単価を設定してるという事はないと思うんですけども。ただ、先程■仰ったように、建設業者が引き手数多という事で、なかなか企業体では参加してくれないと。だからプラントメーカーが頭でその下になら入ってもいいよというような流れになっているというのは現状らしいので、ただ。

■：多分建築、建築のJVなら全然問題ないと思うんですよ。でもこの場合違いますよね。プラントと建築という。

■：これ比率、例えば100億とするやんか仮に、もっと大きいけど、100億としてプラントと建築いうたら比率的にはどんなもんなん。

次長：昔は6対4で、プラントの方が多いくらいやったんですけど、今は建設の方があがってるんで逆転してるかも分かりません。

課長：一番今JVを組むのが建築一式の方の業者からの事なんですけども、JVを組みますと基本プラントも建設業者も親となりますんで、親となれば基本的に25年間の責任をずっと負わなければいけないと。建築に関しましては、基本建ててしまつたら終わりだと。25年間の所で、最低限、親となり得るのは建築側からすれば、プラントメーカーが重きなんで、

どうしてそこまでリスクを負って我々は参加しなければいけないという考えがあるみたいなんです。それについては先程言われてましたように、引く手数多な所がありますんで、建築業者の方が仕事を選んでリスクのある所には行かないという形で今なってきたようなんですけども。だから下請けであればもう基本請負契約でもありますように、最低の2年の瑕疵担保、悪質については10年の瑕疵担保等の最低限の所だけで済みますけども。親になればそういうわけにいかないという事らしいです。

■: DBOで運転の所まで含めて、だから。

課長: そうですね、又それに伴う経費がやはりかなり建設業者としては掛けてていかなければならないという所もありますんで。

■: 一人の主任技術者で10億の仕事とると100億の仕事とると、そんなんみんな大きい所行きよるもん。そら引く手数多っちゅうよりは、人がおらんねん、人不足や。

■: これ仮の話やけど、事務方の見方としたら恐らく建設JVよりもプラントメーカー単独の可能性の方が高いというような感じは持つてるわけやな。

課長: そうですね。最低限参加要件の所は、前回にも色々ご意見いただいて、最終的にはどこの業者が入れるような形の参加要件までは落とさないという所は担保しまして、最低限でも不落にならないようなものの考え方でJV若しくは単独でもいいという形で今回変えさせていただきたいという形でお願いはしたんですけども。

■: 先程並河管理者の話もあったけど、例えばプラントメーカー単独であっても当然建築やとかその他は下請けちゅうのはプラントメーカーが連れてくるんやろうから、それは先程言うようにどこでもええっちゅうわけと違うわけやろ、経審をしっかりと定めて。

局長: 要件は変わりませんので、変えませんので。ただJVか下請けかっていう事だけの話。

■: せやけど、シビアに考えたらJVに拘ったら組まれへんのけ。

課長: 全く組めないとは言いきれないとは思んですけども。確率はかなり低くなります。

■: それやったらプラントメーカー親でプラントメーカーが下請けとして建築業者を使うという事の方がスムーズに運んでいくという事やな。

管理者: より入れやすくなる。

■: ただ、経審の点数から言うてもかなりの点数の設定はするわけやろ。

課長：はい、1,000点以上は変わりありません。

局長：それは元々公表したものと変わりませんので。

■：そりゃ1,000点以下じゃ話ならへん。

■：どっちみちかなり大きなゼネコンしか入れへん、実績なんか要らん。

■：まあ建築で1,000点以上いうたら、奈良県の業者でも数ないもんな。

管理者：如何でございましょう。よろしゅうございましょうか。そしたら又ですね、今日このような議論させていただいたという事をメモ作らせていただいて、前回と同じように又ご署名をいただくような形で。

局長：ただ、ちょっとこれ6月11日に回答しますので、印鑑をいただく日付はそれまでの日付となりますので、印鑑もらいに行く日はちょっとずれるか分かりませんが日付についてはそういう形で宜しくお願いしたいと思います。

管理者：それではその他の事項といたしまして、この機会でございますので何か皆様からご意見ご質問等ございますでしょうか。事務局の方はよろしいですか。都市計画の事とか今進んでるやつはもうご説明してるっていう事でいいですか。粛々と進んでますけど。

局長：そうですね、都市計画決定は今環境アセスをやっておりますので、環境アセスの県からの答申をいただくと同時に都市計画決定を打っていく計画で進んでおります。

管理者：又、地元の公聴会とかそういうのはこっちの方で今のところ滞りなくやっておりますので宜しくお願いしたいと思います。それでは遅い時間にご参集いただきまして申し訳ございませんでしたが、本日の運営協議会これで閉じさせていただきますので、どうもありがとうございました。

以 上